

# 不安の医学 第26回都民講演会

— テーマ —

## 「パニック症」

**日時** 2019年2月24日(日)  
13:30～  
(開場は開演の30分前)

**場所** 早稲田大学国際会議場

**入場料** 無料

<はじめに>

パニック症(パニック障害:PD)とは、ある日突然理由もなく、特別のストレス状況でもないときに、激しいめまい、動悸、呼吸困難、胸痛、吐き気、ふるえ、発汗などの身体症状が出現し、そのまま死んでしまうのではないかと強い不安や恐怖におそわれるものである。これをパニック発作(PA)という。

このPAは、10分以内にピークに達し、通常30～60分程度で自然に治まるため、救急で受診しても多くはそのまま帰されてしまう。

通常の身体的検査ではとくに異常は検出されず、「どこも悪くない」、「疲労のため」などと説明され、適切な対応を受けないことが多い、PAは適切な治療を受けないと繰り返し、症状は進行し、慢性化し外出恐怖やうつ病を合併してくる、また、適切な診断を受けられず、自覚神経失調症、心臓神経症、狭心症、過換気症候群、メニエール症候群などと診断されていることがある。その有病率は一般人口の2～3%といわれている。

今回の講演会が、パニック症の理解を深める場となり、皆様の健康な生活づくりになる事を期待しています。どうぞご参加ください。

久保木 富房

オルガナイザー：久保木富房  
楽山病院 名誉院長／東京大学 名誉教授

● 13:30～ はじめに

久保木富房  
楽山病院 名誉院長／東京大学 名誉教授

● 13:40～

「パニック劇場 ～パニック症の人の人生～」

演者／貝谷 久宣  
医療法人和楽会 理事長

座長／久保木富房  
楽山病院 名誉院長／東京大学 名誉教授

● 14:40～

「パニック症の脳科学」

演者／塩入 俊樹  
岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野 教授

座長／樋口 輝彦  
国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長

● 15:40～ 休憩(20分)

● 16:00～

「パニック症をこじらせないための森田療法」

演者／中山 和彦  
八千代病院 名誉院長

座長／野村 忍  
早稲田大学人間科学学術院 教授

● 17:00 閉会の言葉

樋口 輝彦  
国立精神・神経医療研究センター 名誉総長



くほきとみふさ  
久保木富房

1969年 東京大学医学部保健学科卒  
1973年 東京大学医学部卒  
1996年 東京大学教授(心療内科)  
2005年 健康科学大学 福祉心理学  
科教授、広島大学医学部客員教授、東京大学名誉教授 現在に至る

●学会活動等

日本心身医学会元理事長、日本行動療法学会名誉会員、  
「心身医療」元編集委員、「日本行動医学」元編集委員、  
東京認知行動療法アカデミー理事長、2005年第18回世界心身医学会長

1990Int. Panic Disorder Confer.  
1993 Anorexia Nervosa Study Group.

●著書

「不安症の時代」(不安・抑うつ臨床研究会編 日本評論社)、  
「抗不安薬の選び方と使い方」(新興医学出版社)、  
「Bulimiaの臨床」(三輪書店)、「拒食症の病態生理と診断・治療」  
(新興交易医学書出版部)、「心療内科」(星和書店)、「リラクゼーション反応」  
(星和書店)

かいや ひさのぶ  
貝谷 久宣



1943年 名古屋生まれ。  
愛知県立明和高等学校、名古屋市立大学を卒業後、岐阜大学医学部神経精神医学教室に所属し、恩師難波益之教授の指導の下に神経病理学、生物学的精神医学の研究に従事。1972年より2年間、ミュンヘン・マックスプランク精神医学研究所に留学。帰国後講師、助教授を歴任。1991年より2年間自衛隊中央病院神経科部長を務め、1993年になごやメンタルクリニック開院。その後1997年に赤坂クリニック、2003年に横浜クリニックを開院。2013年には東京マインドフルネスセンターを開設。他にも、一般社団法人日本筋ジストロフィー協会代表理事、京都府立医科大学客員教授等を務めている。  
主な著書「不安・恐怖症、パニック障害の克服」講談社(1996年)、「不安症の時代」日本評論社(1997年)、「脳内不安物質」講談社(1997年)、「マインドフルネス—基礎と実践—」日本評論社(2016年)など。

## ● 会場案内 ●

### しおいり としき 塩入 俊樹



昭和36年7月23日生まれ(57歳)  
 現職：岐阜大学大学院医学系研究科 精神病理学分野 教授  
 学歴：昭和62年3月 滋賀医科大学医学部医学科卒業、平成3年3月 滋賀医科大学大学院医学研究科修了  
 資格：昭和62年5月 医籍登録第306522号、平成3年3月 医学博士の学位授与(滋賀医科大学)、平成6年10月 精神保健指定医(第9774号)の資格取得、平成17年6月 臨床精神神経薬理学会専門医・指導医の資格取得  
 職歴：平成3年4月 滋賀医科大学医学部附属病院助手に採用、平成8年3月 日本学術振興会海外派遣研究員(COE)としてカリフォルニア大学アーバイン校精神医学講座留学(Visiting Professor)、平成10年11月 新潟大学医学部附属病院助手に転任、平成11年7月 新潟大学医学部附属病院講師に昇任、平成12年8月 新潟大学医学部精神医学講座助教授に昇任、平成18年4月 新潟大学災害復興科学センターこころのケア分野チームリーダー(兼任)、平成19年8月 新潟大学医学部附置こころの発達医学センター准教授(兼任)、平成20年6月 岐阜大学大学院医学系研究科神経御学講座精神病理学分野教授 現在に至る。  
 所属学会：日本生物学的精神医学会(評議員)、日本精神科診断学会(評議員)、日本統合失調症学会(評議員)、日本不安障害学会(評議員)、日本うつ病学会(評議員)  
 専門分野：パニック障害、不安障害、気分障害、脳機能画像、自律神経検査、自殺予防、災害精神医学  
 著書等：「DSM-5 ケースファイル」(医学書院、2015)、「不安障害診療のすべて」(医学書院、2013)、「DSM-IV-TRケーススタディ：鑑別診断のための臨床指針」(医学書院、2004)、「DSM-IV-TR治療ケースブック治療編」(医学書院、2006)他。



### なかやま かずひこ 中山 和彦

昭和52年、東京慈恵会医大卒業後、精神医学講座で研修、助教、講師を経て平成6年に准教授。平成8年からロンドン大学、精神医学研究所で客員教授として留学。平成13年から中華人民共和国、大連医科大学の客員教授。平成15年4月より京都府立医科大学客員教授。平成16年4月より東京慈恵会医科大学 精神医学講座 主任教授。平成29年4月より東京慈恵会医科大学 名誉教授。平成29年4月より心利和会八千代病院 名誉院長。  
 専門領域：精神薬理学、非定型精神病、森田療法、てんかん  
 主な著書：「向精神薬の科学」(1992年 星和書店)、「こころのかたち」(1994年 星和書店)、「抗うつ薬の科学」(1995年 星和書店)、「特定不能な精神疾患」(1996年 星和書店)、「非定型精神病・症例集」(1996年 星和書店)、「プライマリケアのための心の病」(1999年 永井書店)、「チャート精神科第4版」(2010年 医学評論社)、「中高年のうつ」(2003年 大泉書店)、「大人の発達障害」(2010年 ナツメ社)、「精神薬理学エッセンシャルズ3版」(監訳：MEDSi、2010年)、「よくわかる、てんかんの生活指導ノート」(2014年 金剛出版)、「言葉で理解する森田療法」(2014年 白揚社)、「非定型精神病とカオス」(2016年 星和書店)

### 早稲田大学国際会議場

〒169-0051 新宿区西早稲田1-20-14  
 TEL 03-5286-1755 FAX 03-5272-2063

〈アクセス〉  
 地下鉄東西線「早稲田」駅 徒歩8分  
 都電荒川線「早稲田」駅 徒歩3分



# 不安の医学 第26回都民講演会

テーマ  
「パニック症」

2019年2月24日(日)  
早稲田大学国際会議場

共催：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会  
持田製薬株式会社

事務局：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会  
 (医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック内)  
 〒107-0052 東京都港区赤坂3-9-18 BIC赤坂ビル6F  
 TEL 03-5575-8198 FAX 03-3584-3433  
 ホームページアドレス：http://www.fuanclinic.com  
 E-Mail：waraku@fuanclinic.com